

【建申】・FAQ(よくある質問)

全体共通

Q1：新たに機能を追加購入したのに、「この機能は購入されていません」と表示され、その機能が使用できない。

A1：新たな機能を追加購入した時に、弊社から送付した CD 内にあるユーザファイルをインストールしてください。ユーザファイルのインストールは【建申】の [初期画面] 右上の環境設定ボタン→ [県別インストール] タブ→ユーザファイルのインストールボタンをクリックします。

※ お客様の社名やシリアル番号、購入機能等の情報はユーザファイルに入っています。新たに機能を追加購入されても、ユーザファイルを再インストールされませんと、【建申】はその情報を認識いたしません。

※ **ご注意** ユーザファイルをお客様が直接編集されますと、情報が壊れて【建申】を使用できなくなる危険性がございますので、絶対に編集しないでください。

Q2：日付入力で元号はどのように入力するのか？

A2：表形式内の日付入力は元号の先頭イニシャルを1文字（大正→T、昭和→S、平成→H）を入力しますと、入力と同時に元号に変換されます。

Q2-a：日付入力で昭和60年代を入力しようとする、Sを入力した時点で「昭和」が表示されるが、年を入力するために6を入力した瞬間に「昭和」が「平成」に変わってしまい、昭和60年代が入力できないが、どうしたらいいのか？

A2-a：この現象が発生した場合には、日付入力セルをダブルクリックしていただき、カレンダー入力画面を表示し、カレンダーから指定してください（下図参照）。

職			
	期間(自)	期間(至)	
1	昭和35/01/01	昭和50/03/31	#
2	昭和62/08/03	昭和63/12/29	○
3	昭和64/01/03	平成08/03/31	ア
4	平成08/04/01	平成10/03/31	同
5	平成02/04/01	平成10/03/31	同
6	平成02/04/01	平成10/03/31	ア

昭和64年1月3日

1月							1989年
日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31	1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	

OK キャンセル

Q 3：日付入力を削除するにはどうしたらいいのか？

A 3：日付の入力部を全て選択し（マウスで日付全体をドラッグするか、**Shift** キーと **←** キー（または **→** キー）で範囲選択）、**Delete** キーで削除します。

Q 3-a：日付入力中に、途中まで入力していた内容を無効にするにはどうしたらいいのか？

A 3-a：入力作業がまだその日付入力セル内に留まっていれば、キーボードの左上にある **ESC** キーを押せば、そのセルで入力中の日付を無効にし、元に戻せます。

Q 4：全体的に上下、左右がずれて印刷しました。この調整は出来るのでしょうか

A 4：平成 16 年の A4 版への改定では下記の理由により、弊社の印刷位置が元の様式とずれるケースがあります。

- 各都道府県様から取寄せた様式が発行日や発行機関で微妙に異なることがあり、弊社が作成した環境ファイルでもずれが出ること
- 都道府県様によっては最近、県のホームページで 電子媒体 (EXCEL ファイルや PDF ファイル) で提供していて、それらが上下左右の余白が非常にアンバランスなため、弊社で自主的に調整した書類もあること

ただ、【建申】では印字位置はすべて環境ファイル (印刷制御用ファイル) で制御しておりますので、お客様がご利用の様式を送付いただければ、その様式に合わせた環境ファイルを作成することもできますので、結果的には所定の位置へ印刷できます。

また今回の改定と関わらず、お客様のご利用になっているプリンタによっては上下左右マージンや縮小が自動的にかかっている場合もありまして、その場合には、多少ずれる場合がございます。弊社では CANON と EPSON のいくつかの機種で確認していますが、微妙 (1mm 以下ですが) にずれる場合がございます。

Q 5：プレビュー&印刷時に「この帳票用の座標値ファイル (C:\¥Program Files¥建申¥prt¥<都道府県名>¥#####.xyz) がありませんので、印刷できません」のエラーメッセージが出ます。

A 5：お客様のインストールされた【建申】のフォルダ (通常は「C:\¥Program Files¥建申¥prt¥<都道府県名>¥#####.xyz」) の中に上記ファイルがなかった事が考えられます。

原因として下記事項が考えられます。

- ① 製品CDから県別環境ファイルのインストールを行っていない。
- ② 製品CDの中に該当の環境ファイルが梱包されていなかった。

対策として、まず製品CDから県別環境ファイルのインストール ([初期画面]-[環境設定]-[県別インストール]) を行い、それでも同様のエラーが発生している場合には、弊社までご連絡ください。

※ 環境ファイルのフォルダは下記2ヶ所で、様式により異なります。

C:\¥Program Files¥建申¥PrintFiles¥-----全国共通様式など

C:\¥Program Files¥建申¥prt¥<都道府県名>¥-----都道府県別様式

Q6：新規で会社データを作成することができなくなりました。

（状況）

- (1)建申で顧客の名前データを入力していた際にフリーズしてしまい、PCを強制的に再起動した。
- (2)以後、新規に会社（フォルダ含む）は作成できるが、その会社でデータを入力する画面に移行しようとする（画面をクリックすると）、画面に移動せずにそのままフリーズしてしまう（再現性100%）。
- (3)過去に作成した顧客データについては(2)は発生しない。新規作成の場合のみフリーズしてしまう
- (4)建申の修復および一旦削除して再インストールしても状況は変わらず。
- (5)もともとあった建申フォルダを削除して全ての顧客データをいったん消去して再インストールしても状況は変わらず。

A6：新規で建設会社を追加するときに、【建申】がフリーズする今回の現象に付きまして、会社一覧管理データが破損していることが考えられます。解決方法として、下記の操作を確認してください。

- (1)【建申】のインストールフォルダから会社一覧管理データを一旦削除。

【建申】は通常、「C:¥Program Files¥建申」にインストールされています。エクスプローラでこのフォルダに入ってくださいと、直下に会社一覧管理データが下記の名前で入っていますので、このファイルを一旦削除してください。

・会社一覧管理データ -----> Kenta_Comp.SS3

※この操作で、【建申】を初めて使ったときの状態になります。

- (2)【建申】の「会社選択」-「会社を新規作成」で、再度、会社のフォルダ名を入力して、既入力の会社情報の復元を試みてください。

(1)で Kenta_Comp.ss3 ファイルを削除しますと、「会社選択」画面の初期表示では一社も表示されませんので、ここで、1社ずつ新規作成していきます。その時のフォルダ名の確認は下記を参照して行ってください。

【建申】のインストールフォルダの直下には下記のフォルダが作成されています。

1)prt -----> 県別の印刷制御ファイルフォルダ

2)PrintFiles -----> 全国標準様式の印刷制御ファイルフォルダ

3)「会社を新規作成」で作成した会社ごとのデータを収めるフォルダ

※このフォルダは新規登録した分が作成されています。

例えば、「佐藤建設」を[satou]で登録しますと、そのまま satou というフォルダが作成されています。

エクスプローラで【建申】のインストールフォルダを確認していただき、prtとPrintFiles以外に作成されているフォルダが会社別のフォルダですので、そのフォルダ名と同じ名前を新規作成時に再入力してください（この時、全角、半角等は全くフォルダ名と同一にしてください）。

(3) (2)で新規に作成した会社を選択して、「会社の選択」画面を脱出し、「会社情報」画面へ入り、既に入力されたその会社の情報を正常に読んだかを確認してください。

※この状態で、既に入力した会社情報が復元できれば解決ですので、もし、既に入力した会社情報が不要であれば、上記(2)、(3)の処理は行わずに、(1)だけの処理で通常に新規会社の登録から行い、正常に登録できるかどうかをご確認いただいても結構です。

Q7：【建申】を別のPCにインストールするにはどうしたらいいですか。また今までのデータも移設したいのでその方法を教えてください。

A7：【手順1】～【手順3】で行います。

【手順1】弊社から届いている最新の【建申】のCDを使用して、別のPCにインストール(*)します。

インストールを完了すると、新たにライセンスキーの入力画面が表示されますので、この時点で、画面に表示されているシリアル番号を弊社までご連絡ください。

シリアル番号の連絡はメールでもFAXでも電話でもどの方法でもOKですが、正確に伝えるためにはメールかFAXが確実です。ライセンスキーを入力し貴社のユーザファイルをコピーし(CDから自動的に読み込みます)、建申が正常に動作するかを確認してください。

(Windows Vistaの場合、ユーザアカウントの設定などで多少面倒な作業が発生します)

(*)弊社ソフトは1台のPCに1ライセンスキーが必要です。【建申】の移し替えの場合にはライセンスキーの再発行は無料ですが、同時に複数台ご利用の場合には複数台ライセンス料金が必要となります。

【手順2】古い方のPCから過去のデータを退避します。退避はフラッシュメモリなどにコピーする方法が簡便ですが、新旧PCがLAN接続されている場合には、LAN経由で移設しても構いません。

コピーするデータは下記の2種類です。

(1)顧客ごとのデータ

【建申】をインストールしたフォルダの下に貴社が今まで作成した顧客ごとにフォルダが切られて入っていますので、移設したい顧客分全てをフォルダごとコピーします。

【建申】のインストールフォルダは通常は

C:\¥Program Files¥建申 です。

お客ごとのフォルダの例

C:\¥Program Files¥鈴木建設

C:\¥Program Files¥日本建設 ……など

(2)顧客リストデータ

【建申】をインストールしたフォルダの下に貴社が今まで作成した顧客すべてを管理するリストデータが入っています。リストデータの名前は Kenta_Comp.SS3 です。

通常は、下記に入っています。

C:\Program Files\建申\Kenta_Comp.SS3

【手順3】 新しいPC（【手順1】でインストールしたPC）へ、【手順2】で退避した顧客ごとのデータと顧客リストデータをコピーします。（LAN で移設する場合には直接にコピー＆貼り付け）

このとき、顧客リストデータ（Kenta_Comp.SS3）はインストール後の起動ですでに作成されていますが、古いPC からコピーしたリストデータを上書きします。

以上でデータの移設は終了です。

手順2, 3はウィンドウズに標準装備されているエクスプローラを使用します。エクスプローラはパソコンのスタートボタンを右クリックし、上から2番目のメニューで表示されます。エクスプローラの操作が中心になりますが、操作方法等で不明な点がございましたら、お問い合わせください。電話での対応も行っています。

経営審査評点計算

Q1：結果通知書の完成工事高の表で、「その他」の行（全28業種のすぐ下の行）はどこで入力しますか？

A1：この行への直接の入力はありません。これは経審点数計算を行わない業種の施工高を集計した数値です。（8-2（3）②参照）

Q2：結果通知書の右側の上から2段目の表の「自己資本」と上から3段目の表の「自己資本」の数値が異なるのはなぜですか？

A2：上から2段目の表の「自己資本」は下式で計算した値、上から3段目の表の「自己資本額」は「全業種共通データ入力」タブ画面の右側「経営規模」の「自己資本額」で入力された値です。

貸借対照表の [資本金+新株式払込金（又は新株申込証拠金）+利益準備金+任意積立金] + 利益処分の [利益準備金+任意積立金+資本金（*1）+次期繰越利益]

（*1）利益処分の資本金とは、当期末利益を資本金の増資に組み込む場合の金額です。

Q3: X21、X22の点数計算がおかしい（結果通知書の完成工事高から算出した数値と合わない）

X21、X22の点数計算において、職員数、自己資本額、平均完工高（全業種合計）は「全業種共通データ入力」画面の経営規模の値（下図の枠内）を使用しています。「各業種別データ入力」の値は使用しません。結果通知書はこちらの数値を印刷していますので、両者の数値が一致しないとこのような結果になります。

		経営規模	
		条件-1	条件-2
職員数(建設業従事者)	審査基準日	27	2期平均 27
自己資本額	基準決算	454,480	2期平均 459,315
平均完工高(全業種合計)	2年平均	1,225,397	3年平均 1,454,249

許可申請書

Q 1：実務経験証明書・実務経験入力画面・期間の自動計算が正しくない。

A 1：数値が全角で入っていると正しく計算しません。数値は半角で入力してください。

Q 2：実務経験証明書・使用された期間、実務経験年数が正しく印刷されない。

A 2：期間や年数が全角で入っていると正しく印刷しません。数値は半角で入力してください。

請負工事台帳作成

Q 1：前に入力した工事台帳詳細データが表示されなくなりました。

A 1：工事台帳詳細データは、工事台帳一覧画面で入力した「工事番号」と「管理番号」を使用したファイル名で保存されます。したがって、詳細データ入力後に、この2つのデータを変更・追加しますと、再度入力するときにファイルが見つかりませんので、読み込めなくなります。

ただし、どうしても後でこの2つのデータを変更・修正したい場合には、工事台帳詳細データ名をエクスプローラで直接変更すれば読み込むことができます。ファイル名の付け方のルールと、保存されているフォルダは下記の通りです。

名前付けルール：請負工事台帳_工事番号_管理番号.SS3

【例-①】 工事番号=1000、管理番号=1 の場合

工事台帳詳細データ名=請負工事台帳_1000_1.SS3

【例-②】 工事番号=C-125、管理番号=土木 2 の場合

工事台帳詳細データ名=請負工事台帳_C-125_土木 2.SS3

保存フォルダ：【建申】がインストールされているフォルダ（通常は C:\Program Files\建申）の下の会社名フォルダに保存されます。